

笑顔輝く せたっこ通信

令和7年度

せたようちえん

うんどうかい



令和7年9月

大津市立瀬田幼稚園

「運動会をやろう！！」

2学期が始まり、元気な子どもたちの声が響くようになりました。暑さのため、園庭で思い切り体を動かして遊ぶ日が少ないのですが、保育室や遊戯室で、体を動かして遊ぶ楽しさを感じていけるよう、それぞれの発達に合った教材や環境を設えています。

そんな中、5歳児の保育室では子どもたちが集って、先生たちと話し合いをしています。「なんだろうな…」と思いながら、もしかしたら…という思いもあり、様子を見守ることにしました。

翌朝、5歳児全員が職員室にやって来ました。

「運動会をしたいんやけど、いつにしたらいいかな？」

→昨日の話し合いはのことだったんです。

「運動会ってどんなことをしたいの？」「リレーとかバレーとか。」「それは、あお組だけでやるの？」「ちがう！！き組もあか組も！」とここまでやりとりをしたら、子どもたちの思いがあふれ出しました。「運動会知らへんからポスターでお知らせするねん。」「お弁当じゃない日に運動会したらいいねん。」「まだ、練習してへんから10月がいいわ。」子どもたちの思いはこれまでの経験と結びついていることがよく分かります。昨年度の5歳児がポスターを作って運動会の日を知らせてくれたこと。リレーやバレーに憧れの気持ちがあること。かっこいい姿を見て欲しいという気持ちがあること。

運動会の日程は決まっていますが、教師から「この日が運動会。」と知らせるのではなく、子どもたちと一緒に考えて決めたとするよう働きかけていくことで、子どもたちの意欲や主体性は大きく違います。昨年度の取組を思い出し、き組やあか組に分かるように知らせたいという思いは、やはり経験がつながっていると感じます。同じようで同じでない「今年にしかできないこと」を子どもたちと一緒に考えて取り組んでいきたいと思います。

そして、あお組がつくったポスターは、自分たちでどこに貼ればいいのか場所を考え、掲示してくれました。き組やあか組が分かる場所、保護者の方が通る場所、よく目立つ場所、先生たちにも知らせたい…一人一人がよく考えていました。そして、ポスターを貼る様子をき組やあか組の子どもたちが興味深く見ていました。ここにも私たちの「ねらい」があります。先ほどと同様、教師から伝えるのではなく、あお組が考えた場所にポスターを貼ることで子ども同士が関わる機会になると考えました。

「これ何？」「運動会をするよっていうお知らせ！」5歳児は得意気に自信をもって伝えていました。運動会、楽しみです。



体を動かすことを楽しめるように教材や環境を考えています

3 歳児

いつでも全力で遊ぶ3 歳児



4 歳児

友達と一緒に楽しい4 歳児



5 歳児

オリジナルの技を考え、試してみる5 歳児



この通信は大津市のホームページからも見て頂くことができます。

